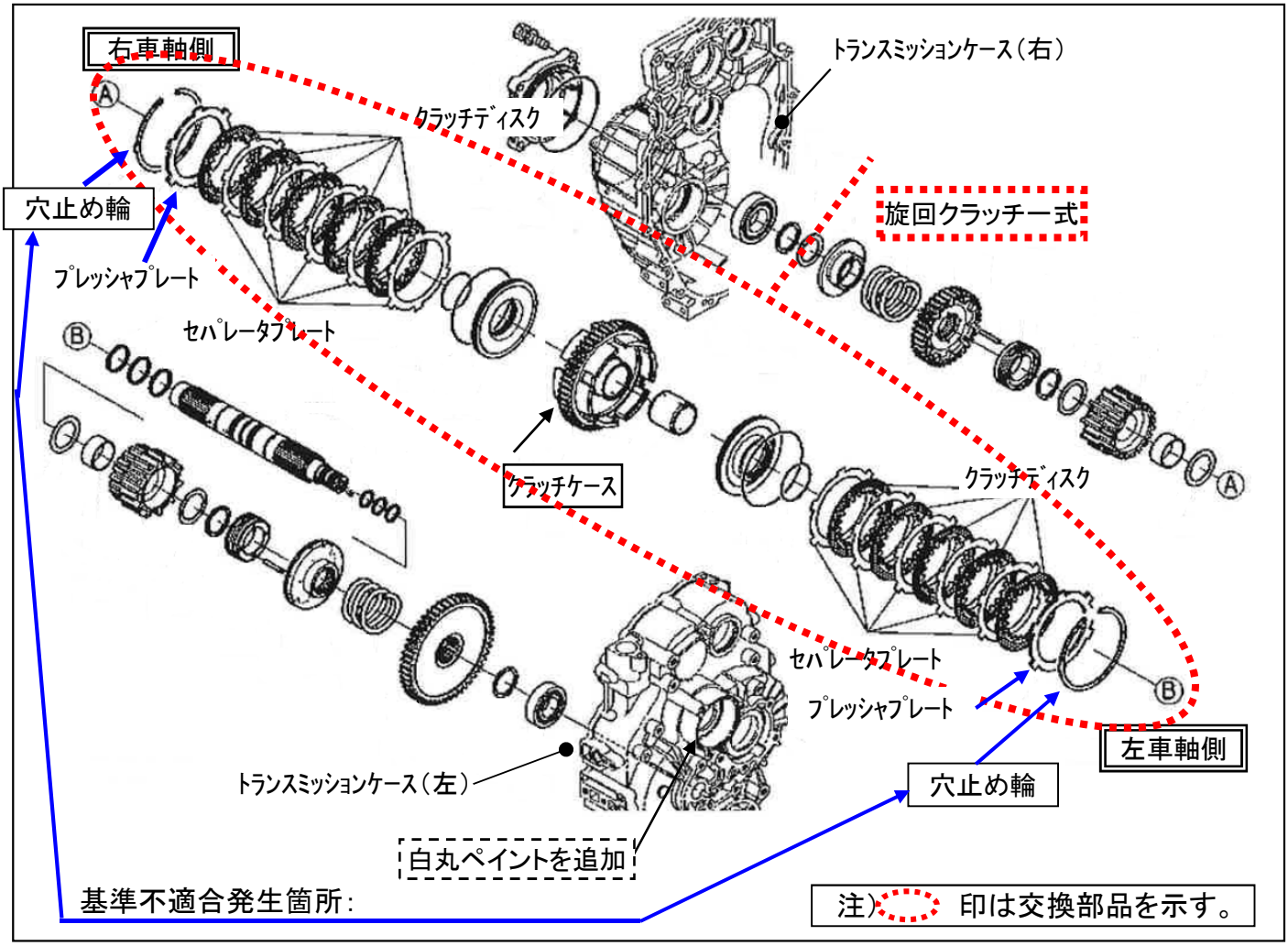
改善箇所説明図



刈取脱穀作業車において、旋回クラッチの設計が不適切なため、旋回クラッチ作動時にプレッシャプレート周辺に応力が集中することがある。そのため、穴止め輪が破損し、動力が伝達することができず、最悪の場合、旋回不能となるおそれがある。

改善の内容：

全車両、旋回クラッチ一式を対策品に交換する。

識別：

旋回クラッチ一式交換後、TM左側面（駐車ブレーキケース）に白ペイントする。